

登録コード	E2445900	開講年度	2026				
授業科目	西洋音楽史(諸民族の音楽を含む)					担当教員	井田 勝大
英文授業名	Western music history					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・4時限	対象学生	3,4年生
講義室	教育N404			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					西洋の歴史と音楽史を横断的に学び、学校教育に生かす知識と実践の方法について習得する。	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	中世から現代に至る作曲家，作品，および時代背景と哲学・美学を中心に論ずることにより，西洋音楽をより身近に感じさせるとともに西洋音楽の歴史的変遷や文化的側面について基礎的な知識を身につける。また、西洋音楽の他，諸民族の音楽についてもふれる。						
(5)授業計画	第1回：西洋音楽史の概要 ― 大きな時代区分を中心に 第2回：諸民族における古代の音楽【遠隔等】 第3回：中世の音楽（1）（ゴシック期～ブルゴーニュ楽派）【遠隔等】 第4回：中世の音楽（2）（フランドル楽派～マニエリスム様式） 第5回：バロック音楽（1）（モンテヴェルディを中心に） 第6回：バロック音楽（2）（J.S.バッハ，ヘンデル，スカルラッティ他） 第7回：古典派（1）（ギャラント様式の作曲家） 第8回：古典派（2）（ウィーン古典派を中心に） 第9回：ロマン派（1）（ロマン派の概念） 第10回：ロマン派（2）（ロマン派の諸作曲家） 第11回：後期ロマン派 第12回：近代の音楽様式【遠隔等】 第13回：現代の音楽【遠隔等】 第14回：諸民族の音楽、授業の最後15分を授業アンケート実施の時間とする。 定期試験及びまとめ（筆記試験）						
(6)成績評価の方法	定期試験評価（100％）。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀，89-80％ 優，79-70％ 良，69-60％ 可，59％以下 不可。						
(7)成績評価の基準	（ ）西洋音楽史の史実把握が適切であり，（ ）語法の理論的背景を説明できており，（ ）その問題にどのような課題があるのかを指摘できており，（ ）それらの課題に対しての既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており，（ ）その上で自分の見解を提示できており，かつ，教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。（ ）から（ ）の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	毎回の授業の際に，教科書や副読本で予習しておくべき個所を指定する。質問事項は随時受け付ける。						
(9)履修上の注意	教育実習における欠席分はeALPS上で補講・補習ができるよう配慮する。						
(10)質問，相談への対応及び連絡先	ida_katsuhiro@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	「はじめての音楽史：古代ギリシアの音楽から日本の現代音楽まで」 片桐功 音楽之友社（2200円）						
【参考文献】	その都度紹介する。						